

The Lure of Painted Poetry: Japanese and Korean Art

閑雅なる漢詩美術の世界

-日本と韓国の詩書画に見る文人趣味-

クリーブランド美術館 3月27日(日)～8月28日(日)まで

来たる3月27日から8月28日まで、クリーブランド美術館において「**閑雅なる漢詩美術の世界-日本と韓国の詩書画にみる文人趣味-**」が開催されます。全米でも屈指の規模を誇る同美術館の収蔵品を中心に、これまで展示される機会がほとんどなかった貴重な作品が公開され、日韓の美術を本格的に比較した世界的にもユニークな展覧会です。

「**閑雅なる漢詩美術の世界**」は、日本と韓国において中国の文人趣味がいかに昇華され、独自の発展を遂げたかということに焦点を当てた展覧会です。展示品は日本の室町、桃山、江戸時代と韓国の朝鮮王朝の作品を中心に、漢詩をテーマとした絵画、水墨画、書、工芸など多岐の分野に渡る約80点です。

学芸員の宣承慧(ソンスンヘ)氏は、今回の展覧会をこのように語ります。「古来、日韓の文化人達は、隠遁の精神を理想とする漢詩をたしなみ、その世界観を様々な形で創作に反映させてきました。隠遁の精神に象徴される文人趣味は瀟々八景や契会図など絵画はもちろん、一見日用の雑器に見える銚子、花瓶、漆器に至るまで、様々な形の美術の中に、その影響が見られます。また今回は日本・韓国の現代作家の作品も展示し、現代の作家達が文人趣味をいかに解釈し、その伝統を今日に受け継いでいるかを見ていきます。」(作品詳細は別紙に添付)

宣承慧(ソンスンヘ)氏は、クリーブランド美術館就任以前、韓国史上初の日本美術担当学芸員として、韓国国立博物館の日本美術展示室の企画・展示に携わってこられました。韓国国立中央博物館で2005年日本室をオープンさせ、『日本近代西洋画展』(2008)、『日本美術における復古風』(2008)、『公州の名家—名門の肖像画と古文書—』(2009)など数多くの展覧会を企画してきた経歴を持ち、本展覧会はクリーブランド美術館就任後初の企画展となります。

「**閑雅なる漢詩美術の世界-日本と韓国の詩書画にみる文人趣味-**」は無料で一般公開され、当企画展に合わせ、クリーブランド美術館が収蔵する日本・韓国美術の目録を出版する予定です。また、講演会や児童を対象としたイベントなど、多彩な教育プログラムも予定されています。

クリーブランド美術館について

クリーブランド美術館は質・量共に全米屈指のコレクションを誇る総合美術館として知られ、六千年に及ぶ時代の四万点以上の美術品を所蔵しています。現在大規模な改修工事・拡大事業が進行中で、完成後は展覧会、舞台芸術、美術教育、研究のための国際的な施設として利用される予定です。入場料は無料。クリーブランド美術館には 21500 世帯以上の会員がおり、クリーブランド及びオハイオ州北東部の個人、団体、企業から幅広く支援を受けています。また非営利組織「カヤホガ・アート・アンド・カルチャー」を通じて、カヤホガ郡の市民のサポートも受けています。さらに、オハイオ州の経済成長、教育、文化の質を高めることを目的に、オハイオ州芸術委員会から州税による補助も受けています。

お問い合わせ：

For English:

Caroline Guscott

11150 East Boulevard, Cleveland, Ohio 44106, U.S.A.

Phone: +1 (216) 707-2261 Fax: +1 (216)-707-6521

E-mail: cguscott@clevelandart.org

日本語でのお問い合わせ：

日本・韓国美術学芸員 宣承慧（ソンスンヘ）

11150 East Boulevard, Cleveland, Ohio 44106, U.S.A.

Phone: +1 (216) 707-2231 Fax: +1 (216) 421-8654

E-mail: ssun@clevelandart.org